

奈良女子大学生協 秋のお茶会



[組織運営]

取り組み概要

日時：2023年11月15日 16:30～17:30
 場所：奈良女子大学生協 食堂
 参加者数や組合員の反応：当日は8名の参加があり、そのうち6名が総代だった。

背景や概要：大学生協や総代についてや、総代会への参加以外にも役割があることを再確認する機会として実施。また、大学生協に声が届くことを実感してもらえたようにした。

年間を通した総代とのつながりを目指して

POINT.1

年間を通した総代とのつながりを



関西北陸ブロックでは、年間を通した総代とのつながりを課題としている会員生協は決して少なくありません。実際に、奈良女子大学生協でも総代の役割や総代として活動する魅力が伝わっていないという現状があります。そこで、奈良女子大学生協学生委員会はコロナ禍以前に実施されていた総代との秋のお茶会を数年ぶりに復活させ、実施しました。総代会だけではなく秋のお茶会も実施することで、総代の役割を伝えることに加え、総代に対するイメージアップを図ることができていました。

POINT.2

次年度の総代継続や新規就任を目指して

秋のお茶会には、総代の人とそうでない人の両方が参加していました。総代になることや、総代として活動することの魅力ややりがいを改めて伝えたことで、今総代になっている人に次年度も継続してもらえるきっかけづくりができていました。

また、総代の子に誘われて参加した人にも丁寧に説明を行ったことで、今は総代ではない人にも総代の魅力を伝えることができていました。今回のお茶会がきっかけとなり、次年度新たに総代になってくれる人もいるかもしれませんね。

総代会をする前に!!!

総代さんお茶会を毎年開催!!!

- 目的
 - ・総代という特別な立場に魅力を感じてほしい
 - ・WINDYと総代さんとの壁をなくす
 - ・総代会に出席することに意味があることを知ってほしい
- 内容
 - ・総代会の先取り(総代会について勉強)
 - ・グループワークを通して総代会の疑似体験

POINT.3

盛り上がった“スイーツの考案”



総代についての説明に加え、スイーツの考案も行っていました。グループに分かれて「現在売られている商品で足りていない点」や「どのような商品があればいいのか」を話し合い、奈良の大仏をモチーフにしたパフェやホットドリンクなど、様々なスイーツを考案していました。総代会だけではなくそれ以外の時期でも、総代同士が意見を活発に交流し合い、大学生協に声を届ける場づくりをしている点が魅力的です。また、学生委員もグループに入り交流したことで、学生委員と総代のつながりづくりにもなっていました。